



アサヒビール大山崎山荘美術館  
2班 山本喜三郎 画

発行日 令和3年9月10日  
発行元 大山崎ふるさとガイドの会(OFG)  
発行責任者 矢内章太  
連絡先 大山崎町歴史資料館内  
TEL 075 (952) 6288 FAX 075 (952) 6289  
URL <https://www.kyoto-ofg.org/>

166号

アサヒビール大山崎山荘美術館開館秘話 (前編)

元大山崎町歴史資料館館長 林 亨



ちょうど昭和から平成に時代が変わろうとしていたころ、この難題が発生しました。その難題とは、大山崎山荘を壊してマンションを建築するという開発計画でした。大山崎山荘は皆さんもよくご存じの通り加賀家が所有していた土地と建

物です。山荘は昭和40年代から50年代にかけて数奇な運命に翻弄されます。昭和42年には加賀家の手を離れて人手に渡り、複数の所有者の手を経てマンション建設会社の手に入ったのが昭和64年のこと。この業者は大手のマンション建設会社で、この時ばかりは私も大山崎山荘はもうだめかと観念しました。しかし、ここから復活の逆転劇が始まったのです。マンション建築を知った地元住民が猛反対を繰り広げました。町も間に入って京都府にも相談しました。この地元の声が京都府知事に達したのです。当時の知事であった荒巻貞一はこの問題を解決するにはマンション建設を中止し買収するしかないと考えました。しかし買収を誰に頼むのか。京都府で買収するにしてもそんな理由はない。そこで関西財界の主だった企業に声を掛けました。この当時、ちょうどバブル景気の真っ最中で声掛けした企業もバブルと言うこともあって好調を持続している企業が多

が多かったのです。その中でもっとも荒巻が期待を寄せたのがアサヒビール(株)でした。何故ならあのスーパードライが当たりに当たって絶好調であったことと、その会社の社長をやっていたのが京都市出身の樋口廣太郎であったからです。樋口は事あるごとに京都のことを気にかけていたと言います。そんな樋口に荒巻は助けを求めました。大山崎山荘買収に協力してもらえないかと。この件を聞いた樋口の行動は素早かった。この山荘開発計画を進めていたのは住友銀行系列の建設会社でスミトウと言う会社でした。樋口はアサヒビール社長に転身するまでは住友銀行副頭取と言う立場であったので銀行系列の会社には勿論顔が聞いたのでしょう。樋口はすぐに行動に出ました。大胆にもスミトウにマンション建設断念を依頼した節があります。一方、樋口はアサヒビールで山荘を買収するための下工作にも抜かりはありませんでした。

アサヒビールが動いてくれたおかげで京都府も動きやすくなりました。荒巻知事は府庁内部の意見を統一し、議会の了解も取り付けて大山崎山荘の買収を官民一体で行うという当時としては画期的な取り組みが実現したのでした。山荘の建物がある中心部分をアサヒビールが買収し、周辺を京都府と大山崎町が買収することで話がまとまりました。

バブル景気、スーパードライ売り上げナンバーワン、京都市出身の元銀行副頭取でアサヒビール社長、幸運と人の出会いが重なって前代未聞の買収劇が実現したのでした。時に平成3年のことです。

(次号へ続く)

5月～8月の活動実績

- ・7月4日(日) ST53会 7名
- ・7月14日(水) 大阪府高齢者大学校 43名
- ☆大山崎町歴史資料館 小企画展  
「大山崎山荘今昔」令和3年6月1日～20日

活動予定

- ・10月16日(土)天王山シニア倶楽部 <中止> 20名
- OFG 主催ガイド <中止>
- 天王山ウォーキング(登山コース) 10月15日(金)
- 天王山ウォーキング(山麓コース) 11月19日(金)
- 定点ガイド  
10月は中止

緊急事態宣言が9月末まで延長されましたが、感染拡大の終息が見えないため、OFGの対外活動は10月末まで休止することになりました。申込ガイドや歴史資料館当番は11月から再開します。

- OFG 第1回歴史講演会  
・12月4日(土)「近江南部の戦国大名一六角氏について」  
講師：新谷和之氏
- ガイドコース現地学習会  
・9月8日(水) 9:30～瓦窯跡公園 (11月以降に延期)
- 大山崎町文化のつどい  
・10月30日～11月9日

8月ガイド実績

	一般ガイド		歴史資料館		旗立松・定点		瓦窯跡公園・定点		合計	
5～8月	3件	51人	56件	84人	1件	1人	1件	1人	59件	135人
令和3年度累計	6件	169人	76件	120人	1件	1人	1件	1人	82件	289人

## 自転車散歩

わたし こんなん しています

## 阿波おどりと OFG 歴史学

昨年の春、突然に猛威をふるいだしたコロナ、私の生活を一変させました。仕事・家庭・趣味そして OFG と忙しく動いていましたが、コロナと同時にカレンダーから予定が消え空白だらけ、そこで始めたのが自転車です。鹿児島出身で京都の生活が短い私には歴史の宝庫・京都の地理がサッパリ、そこでこの際、身体に地理を叩き込めとばかり自転車散歩を始めました。自宅から片道 1 時間、東寺・大原野・高槻・伏見方面が範囲、ところが走行途中で神社仏閣・史跡看板があるとすぐに予定変更して歴史探訪となります。よく利用するのが「桂川サイクリングロード」で一生涯命ペダルを踏むのですが後ろから来る自転車に追い越され、私が追い越すのはほぼゼロ、若いつもりでも身体は正直「頑張ろう！72 歳」独り言を言いつつ走っています。さて皆さん「琵琶一」と言う言葉をご存知でしょうか？意味は琵琶湖一周、友人に誘われていますが体力が!! (3 班 加藤 良一 記)



私、徳島県（阿波）出身の OFG です。徳島と言えば阿波踊り！毎年 8 月 14 日は、ふるさと阿波へ踊りに行きます。京都の踊り子連、関西の踊り子連の皆様方と徳島城跡公園に集合して日暮れと共に提灯の演舞場へ、長岡京市バンビオでの練習成果の披露です。

阿波の殿様「蜂須賀家政」が徳島城の完成を祝い～「好きなように踊れ」と踊り始めたのが始まりで、その後盆踊りとなり踊り方も進化した。戦国武将と OFG 歴史学に興味上、今年の「NHK 大河ドラマ麒麟がくる」の山崎合戦企画展で屏風にも羽柴秀吉の近くに蜂須賀正勝（小六）も参戦していた。光秀が信長への謀反は諸説ある中で、四国説が有力理由ではないか？と四国説に益々興味。四国攻め等の戦功に秀吉が蜂須賀に阿波一国を与えたそう。

戦国武将を偲びながら、月 2 回の練習は好きなように私流に踊りをしています。昨年、今年はコロナの影響で徳島への阿波踊りは選抜となり参加出来ませんでした。今は老人ホームへの慰問や、神社への奉納など活動しております。皆様、徳島城跡公園そして阿波踊りへお越してください。(4 班 山本 復一 記)

## OFG あちこち学習山歩 (51)

### 天王山の知られざる道

6 月 28 日(月)梅雨空にもかかわらず、当日は、心地好い風が暑さを凌いでくれました。澤田僚一さんの案内で、会員 12 名桜広場公園を出発!! すぐ側の 蛇姫池は、満開の水蓮の花!! 羽根を休めていたアオサギが「行ってらっしゃい!!」と見送ってくれているようでした。「山一 20」標識を左折し、裏道を通って青木葉谷広場から旗立松を経て「ソゴ展望台」という新しい絶景スポットに出ました。ここでは、多くの方の整備のおかげに感謝しつつ、リュックを降ろして、休憩。

三社宮から酒解神社迄の紫陽花がなんと見事に咲き誇っていました。また、山小屋横に KDDI がカブトムシの飼育をしているところを見学し、見晴らしの良い山頂で昼食!! 対岸を双眼鏡で見ると国会議事堂? のような建物が、「実は、大阪工業大学でした」と、澤田さんが説明(笑)

下山は、ミツマタロードから宝積寺へ。そして、初めて訪れた神照院の五輪塔や十三重石塔は、見事でしたが、雑草で道がふさがれており訪れる人があるのか? この整備は今後の課題だと思いました。先輩方に、未知の道や歴史を色々丁寧に説明して頂き、学び多い一日でした。

ありがとうございました。

(2 班 森圭子 記)



コース略図 S=スタート



神照院五輪塔で

## コロナ対策しながらのガイド

### 大山崎小学校の学習支援

4 月 23 日大山崎小学校 4 年生 110 人をガイド 12 人で天王山に案内しました。コロナ禍の中、半年ぶりの同行ガイドでした。子供達はマスクをきっちりつけてガイドからの挨拶とお願いを聞き出しました。竹林の小路を通り三川合流展望、旗立松へ、陶板画の前で質問を受け、合戦の話をしながら、天王山山頂でゆっくり昼食をとり、その後、多羅葉の葉に手作りのペンで文字を書き、子供達は初めての経験で大変喜んでくれました。柳谷の分岐から長い下り坂なので靴の紐を結び直してと言いながら小倉神社に到着しました。元気に下山できたお礼を皆で手をあわせました。第二大山崎小学校で給水とトイレをすませ先生方に見送られて無事学校に戻りました。後日、子供達からお礼のお手紙が届きました。これからもコロナに負けないで頑張りましょう。

(3 班 澤田裕子 記)

### 大阪高齢者大学校 歴史探訪ガイド

7 月 14 日(土)梅雨期の開催で朝集合時に土砂降りの雨! ちょっと心配でした。山崎合戦を中心に、光秀本陣(長岡京市址との闘い?)、山崎合戦址(夢ほたる公園)、黒門跡での開戦から戦いの様子を細かく説明。それ以外では大山崎の荏胡麻油発祥と大山崎油神人の全国展開による自治都市機能や、宝積寺での閻魔堂における「六道輪廻の思想」の説明は興味を示し、死後の裁判が 7 日毎に 7 回開かれ 4 9 日目に決定するので、その間の祈りが大切との話にはひどく納得されていました。私は約 1 年半ぶりのガイドで心配なので、コースの内容を 2~3 日かけて前準備をしました。私なりに楽しんでもらえるように、雑談も交えながらガイドしましたが、それ以外の部分で質問があると、分からない所は資料等を使いながらも、情けないと反省しました。最後に、久しぶりで疲れました。(1 班 鈴木 工 記)